



## 20代の若いドライバーでも 保険料金額が割安に 三井ダイレクトの自動車保険

“保険料の安さ”を売り物にするのは三井ダイレクト。電話やインターネットでの通信販売方式や、使用目的・年齢などに応じたりリスク細分方式により、従来の自家用総合自動車保険と同条件でありながら低料金を実現。特に、他社に比べ20代前半の若年層でも高い割引率を得られるのが大きなメリットです。例えば、右例のように若いドライバーでも高い割引が得られたり、また親子で車を使うことになった場合でも三井ダイレクトなら“年齢条件が下がったら保険料が急騰する”ことはありません。実際、親子ドライバーの方から「三井さんの保険があって本当に保険料が助かった」と喜びの声も届いているそうです。

もちろん、補償内容も対人・対物賠償：無制限、無保険車傷害：2億円、搭乗者傷害：2千万など既存の保険と変わらぬ限度額を設定。人身傷害特約なども用意し、今使っている保険と同じ範囲をカバーできます。また、6歳未満の子供がチャイルドシート装着時に事故により後遺障害を負った時には保険金を倍額支払うなど、三井ダイレクト独自の支払い内容もあります。

事故受付は24時間365日。休日の事

故でも平日同様、相手方への連絡や病院への手続き、修理工場の手配などスムーズに対応してくれます。事故対応は1つの事故について1人の専門スタッフが最後までサポート。事故証明の手配もやってくれるから、ドライバーの負担はほとんどありません。事故処理経過は電話で直接担当者に聞く以外にインターネットの専用ページでも24時間確認できます。

例えば、23歳のこんな若者の場合...



- 補償内容・割引特典など
- 前年無事故割引、(2%) 長期優良割引(2%)
- ABS割引、エアバッグ割引など。
- インターネットによる保険契約で3000円割引。
- 問い合わせ、0120-312-405

## 安心なのは保険料ではありません。 高品質な補償内容にも力を入れた ソニー損保のダイレクト自動車保険

保険料・補償内容・事故対応など総合的に優れた自動車保険を目指したのはソニー損保。割引率自体はそれほど高くはありませんが、「割引率の大きい会社よりは契約をとっている」(担当者)と頑張りを見せています。

ソニー損保の保険は既存の自家用自動車総合保険(SAP)よりも充実した補償でありながら、しかも低料金がポイント。さらに保険料・補償内容・無料サービスだけでなく、カスタマーセンターの電話対応やインターネットのホームページ等も商品の一つと捉え、丁寧に取り組んでいる姿勢が人気につながっているようです。

具体的に、保険料は年齢・使用目的、車の型式さらに走行距離に応じたりリスク細分で決定。例えば、使用目的なら「主に業務用」か「主に家庭用」で区分、「主に家庭用」であれば年間走行距離でも保険料が変わります。ちなみに、走行距離11000km以下なら保険料割引が得られるそうです。(ソニーの調査によれば日本のドライバーの8割が年間11000kmに満たないとのこと)

補償面では、人身傷害補償をはじめ、対人事故の場合は主に見舞いなどに使う臨時費用として入院3日以上で3万円、死亡時15万円の臨時費用保険金を給付。子供が車に搭乗中の事故で重度後遺障害を負った時に倍額の保険金を給付する子供後遺障害

保険など、ヒトに厚い補償を用意。既存の補償範囲にとどまらない高品質な内容です。

他社にはない独自の特約は「おりても特約」(レジャー使用時のみ)。車での外出先で起きたトラブル(ケガ、盗難、商品破損など)なら何でも補償の対象です。補償金額は本人でも家族でも死亡時500万円、入院時5000円/日、通院時1500円/日と充実。これだけそって掛け金が年間1万円程度はお買い得です。

事故受け付けは24時間365日。事故後は1事故1担当制により専任の担当者が対応してくれます。事故後の処理経過は八ガキやインターネットを通して詳しく確認可能。人身事故の時は担当者が被害者や加害者のを訪問し、サポートしてくれます。

### 補償内容・割引特典など...

- 対人・対物賠償：無制限や無保険車傷害保険：2億円をはじめ、搭乗者傷害保険、車両保険などの限度額は従来の保険と変わらないカバー範囲。
- 自損事故保険は人身傷害補償に含まれ、限度額は1億円です。
- 割引は、インターネット契約割引(2000円)、ABS割引(約5%)、エアバッグ割引(約10%)の他、継続割引(1回目1%、2回目1.5%、3回目以降2%)などがある。
- 見積もりはインターネットでOKです
- 問い合わせ 0120-101-869